

昔の懐炉・温石 おんじやく

ポケットに入れたり、背中にはったり、靴の中に入れたり、寒い冬に活躍する懐炉。その原型は、平安時代末ごろに登場した「温石」といわれています。

温石は、保温力に優れた石を板状に加工し、温めて布でくるみ、懐に入れて暖をとる道具です。材料には軟らかく加工しやすい滑石かすまきなどが使われ、上部には穴が開けられていました。この穴は、火鉢などで温めた温石を取り出す際、直接触れてやけどをしないよう、火ばしなどを引つ掛けるために使われていたと考えられています。

石の持つ保温力が優れていることは、現在でも日本や韓国の料理で、石鍋が使用されていることからわかります。国指定史跡・河越館跡からは、滑石製の温石だけではなく、滑石製石鍋の破片を温石として再利用した物が出土しています。

ちなみに、作業中の僧が寒さと空腹を我慢するため、懐に温石を入れたことが、空腹をしのぐ軽い食事である「懐石料理」の語源だといわれています。



滑石製の温石（上）と石鍋を転用した温石（下）

市税納期のお知らせ

2月は、固定資産税第4期・国民健康保険税第8期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当・TEL 224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

わたしたちのまち

平成21年2月1日現在

人口 337,086人

前月比 -1人

■男 169,670人

■女 167,416人

●出生 263人

●死亡 285人

●転入など 1,110人

●転出など 1,089人

世帯数 136,783世帯

前月比 -8世帯

世界の国から、こんにちは！



ブラジル/ピニエイロ・ジャクリニさん

アマゾン川流域かわりゅういきのマナウスの出身です。アマゾン川かわというと、ジャングルを思い浮かべるかも知れませんが、マナウスは大きな都市で、日本企業の工場も多くあります。

10年前、親の仕事の関係で川越かわごえに来て、市内の中学校に通いました。そこで、クラスの人々に優しくしてもらったことが印象に残っています。今でも連絡を取り合う友人がいます。初めて会った方に「川越生まれでしょう？」と言われるくらい、川越が大好きです。将来は、観光に関する勉強べんきょうをしたいと思っています。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは12ページ、相談は18ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506